



「子どもたちに輝く未来を」 音楽フェスで 成功体験や憧れの場をつくる

2017年から始まった、親子で楽しめる音楽フェス「Rocks For Chile(ロックス・フォー・チル)」。SDGsを視野に入れ「子どもたちの未来のための持続可能な社会づくり」を目指して始まった活動は初回から反響を呼び、多くの人の心を動かした。しかし一方で子どもたちが直面する社会課題も浮き彫りになった。次世代へ夢を与えながら、いかにして現状の問題解決に立ち向かうのか。果敢に挑むママさん社長、伊吹美里さんに話を聞いた。

子どもの未来のための 音楽フェス

結婚や出産を機に「働くママや子どもたちの未来にとって、いい社会とは何だろう」と考えるようになった伊吹さん。そんな時に元上司から新会社参画の誘いを受けた。初めて知ったSDGsの考え方や、それに基づいた「子どもたちの未来のために」というコンセプトに共感し、2017年に株式会社RFCに参画。同時にRocks For Chileの活動をスタートさせた。「親子で楽しめるフェスを」という思いで第1回を開催した後、さらに児童養護施設へ楽器の寄贈を行った。すると「施設に入る子どもの多くが児童虐待の経験があること」「集団生活の中で文化的な体験の機会が少ない傾向にあること」などの現実を知った。「『子どもの未来のために』と始めましたが、そのために今ある子どもの社会課題を解決したい。どんな境遇の子どもでも夢を持てる社会にしたいと強く思うようになったんです」。伊吹さんが実際に夢を叶えたアーティストなどに話を聞いて

みると、「周囲を気にせず、自分の道を突き進んだ」という共通点があった。「強い憧れを抱けるような場があればいいのでは」とフェスのコンテンツを見直し、アーティストと直接交流できるような「体験」の機会をつくった。

フェスをきっかけに 始まった取り組みも

そんな流れの中で、子どもたちの成功体験を目的とした活動にも取り組んだ。第2回目のRocks For Chile開催となった2018年、初めて児童養護施設の子どもたちを招待したところ、「自分たちでも何かやりたい」と提案してきた。そこで、翌年のフェスでは子どもたち自身がお菓子を作って販売することに。1日目は売れ残ったが、出演アーティストも一緒になって手売りした2日目は完売。喜ぶ子どもたちを目の当たりにした伊吹さんは効果を実感し、フェス以外の場所でもこの活動を継続することに。「児童養護施設の子どもたちが18歳になって退所した後、生活がうまくいかなくなる子も多い。その子たちが夢を持つ



Rocks For Chileの趣旨に共感し、自ら手を挙げるアーティストも多数。昨年はHYやMINMIさんなどが出演した。



フェスでは、一流アーティストとセッションしたりバックダンサーの機会も設けられる。親がファンというアーティストと一緒に音楽を楽しむことでその子ども自身もファンになるのだとか。



伊吹 美里 さん

株式会社RFC(豊中市)代表取締役
CEO。2017年からRocks For Chile
を主催。昨年、代表取締役に就任。



「貧困をなくそう」

児童養護施設の子どもたちに成功体験の場を提供する取り組み等。



「質の高い教育をみんなに」

Rocks For Chileでイベントを企画する「子ども実行委員」や一流アーティストとの交流、自己有用感を養うワークショップコンテンツの実施等。

きっかけづくりや今後の人生を切り拓く助けになれば」と伊吹さんは語る。

また、フェスの企画から関わる「子ども実行委員」では、会場マップや楽屋の名札を手作りするなど、斬新なアイデアも多数飛び出した。意欲的に行動する子どもたちに、アーティストや親は驚いたという。「自己有用感が満たされたのでしょうね。親御さんから『引込み思案だったが積極的になった』『かんしゃが減った』という報告も受けました」。そのほかにも、大阪府で児童虐待死をゼロにする取り組み「ゼロ会議」への参加や、外国にルーツを持つ子どもへの支援も行っている。

SDGsのプロとしても活躍

伊吹さんが社長に就任した昨年は、新型コロナウイルス対策のため資金繰りも難しく、一時は開催も危ぶまれたものの、クラウドファンディングを活用しながらなんとか開催に漕ぎ着けた。コロナで活動が制限されている中でSDGsに関する資格も取得し、現在はSDGsを取り入れたビジネスについて企業でのアドバイスも行う。

今年4月には、パナソニックセンター大阪の新コーナー「あるままBASE/OYA-

KO」のオープニングイベントの企画も担当。SDGsの達成や様々な社会課題解決への貢献を目指す同コーナーのコンセプトを、人気絵本作家のライブペイントで描くなど、ユニークな内容で注目を集めた。

現在は、秋のRocks For Chile開催を目指して動いている。「コロナで難しい面もありますが、スタッフも出演アーティストの方も『このプロジェクトは必要だ』と意義を理解してくれています。できることは何でもやっていきたい」。子どもたちの輝く未来を応援するプロジェクトは、子どもと共に確実に成長している。



今年4月、梅田のグランフロントにて「パナソニックセンター大阪」主催で開かれたイベント。絵本作家・谷口智則さんを迎え、会場は大いに盛り上がった。



SDGsとは「持続可能な開発目標」のこと。2015年の国連サミットで採択された。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標だ。地球上で「誰一人取り残さない」社会を実現するため、17の目標と169のターゲットを設定している。

CULTURE

2023年度中の完成を予定 「将棋の聖地」関西将棋会館が高槻市へ移転

高槻市は、武家屋敷が広がっていた高槻城三の丸跡から江戸時代の小将棋や中将棋の駒が多数発掘されたり、初代高槻藩主である永井直清が文化に造詣が深く、古くから広く将棋がたしなまれていたことから「将棋のまち」を掲げている。

平成30年9月19日には公益社団法人日本将棋連盟と、自治体としては全国初となる「公益社団法人日本将棋連盟と高槻市との包括連携に関する協定」を締結。その後、令和元年8月に高槻市から日本将棋連盟へ移転に関する提案を行った。そして今年4月28日に、日本将棋連盟と関西将棋会館(大阪市福島区)の高槻市への移転について、覚書を締結。今年の夏頃には正式合意書の取り交わしを予定している。



4月28日、覚書を締結した濱田市長(左)と日本将棋連盟の佐藤会長

移転予定地は、JR高槻駅西口に近接した市有地「JR高槻西滞留所」(1250㎡)。2023年度中の完成を予定している。

移転計画を巡っては、新会館の建設費支援を目的に、ふるさと納税で寄付金を募ることも発表された。新会館には全国から棋士が集い、年間を通じて様々な対局が繰り広げられる日本将棋連盟の西日本唯一の拠点施設となる。将棋のまちづくりを推進している高槻市にとって多大な効果が期待できると市の担当者は考えている。

箕面公園いいね！プロジェクト

昆虫館

生体企画展

「カブ・クワ展」

さあ夏だ！
日本と世界の
カブトムシ・クワガタたちが
キミをまっている

会期 ▶ 7月16日(金)～8月31日(火)
場所 ▶ 館内生体展示コーナー
(※さわることはできません)

伊丹市昆虫館・箕面公園昆虫館合同企画 「魅惑のいもむし・けむし展」

イモムシとケムシの全ての魅力が詰まった企画展
そのかわいらしさと不思議さに出会ってみよう

会期 ▶ 開催中～8月31日(火)
※箕面公園昆虫館のみ会期を延長します
休館日 ▶ 火曜日(7月20日～8月31日は開館)
入館料 ▶ 高校生以上280円中学生以下：無料
障害者手帳の提示で本人と介助者1名：無料
※安心安全のため、お子様には保護者(大人の方)の同伴が必要です

◆ 箕面公園からのお知らせ ◆

・公園内園路への一般車両(バイク・自転車含む)の乗入れはできません(許可車・指定車除く)。公園内は歩いて散策ください
※令和3年4月1日より自転車も対象となりました。

・新型コロナ感染拡大防止、感染予防のために野外であつてもご協力ください。

- ▶ お互い距離は十分にとりましょう
- ▶ ご来園は少人数、ご家族単位で。
- ▶ 集団での宴会、飲酒はお控えください
- ▶ 人とすれちがうとき、会話、人が多く集まるエリアでは、散策、ウォーキング、ランニングの際はマスク、口布を着用ねがいます
(※屋外で人と2m以上離れている時はマスクをはずして熱中症予防!)

詳しくは
公園ホームページを
ご覧ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止、 感染予防のために

- ▶ 昆虫館は入館者数の制限をおこなっています(再入館はできません、館内イベント中止、館内一部コーナー利用制限あり)
- ▶ 昆虫館の入館、見学時はマスクの着用をお願いします
- ▶ 検温をおこなっています。
- ▶ 入館、退館の際は手指の消毒をお願いします(アルコール消毒液を設置しています)
- ▶ 感染拡大状況により臨時休館となる場合もあります。あらかじめご了承ください。